

つるおか

市議会

令和7年

6月定例会号
R7.8.1 発行

Vol.84

だより

夏休み特別企画展

化石どうぶつえん

～生き物の長い生い立ちをさぐる～

道の駅「月山」 月山あさひ博物村 文化創造館で開催中
10月19日(日)まで

6月定例会の概要……………	P 2
議案一覧……………	P 3
定例会のポイント……………	P 4
委員会審査……………	P 5
総括質問……………	P 8
一般質問……………	P11

6月定例会の概要

令和7年度補正予算、条例の一部改正など30件を審議

6月定例会は、6月10日に開会し、市当局が26件の議案を提出しました。請願2件については、所管の常任委員会に付託しました。

上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、それぞれ審議し、18日間の会期を経て、6月27日に閉会しました。

(議案・請願の内容と審議結果は3頁)

市当局が議案を提出 7人が総括質問

開会初日は、市当局が報告4件、予算議案4件、条例議案2件、事件議案15件、人事案件1件の計26件の議案を提出しました。報告は了承し、次に各会派を代表して7人の議員が総括

質問を行いました。

(質問内容は8～10頁)

上程された議案のうち、議第56号から議第76号について、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。

次に、議第77号を審議し、表決の結果、全員賛成で同意しました。

(人事案件の内容は下段)

予算特別委員会を開催 各分科会に分割付託

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案4件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託しました。

23人が一般質問

12日、13日、16日の3日間、市当局に対し、23人の議員が市政全般について一般質問を行いました。

(質問内容は11～15頁)

各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

17日に総務、18日に市民文教、19日に厚生、20日に産業建設の各常任委員会を開催しました。

常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。

(審査内容は5～6頁)

また、総務及び市民文教常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

請願2件を不採択 予算特別委員会で分科会報告

26日の本会議では、意見書提出を求める請願2件について、各所管の常任委員長が審査報告を行い、討論の後、表決の結果、請願第5号及び請願第6号は賛

成少数で不採択としました。

本会議終了後に開催した予算特別委員会では、初めに、各分科会委員長が議第57号の審査報告を行いました。

続いて、委員提出の修正案について、質疑を行い、討論の後、表決の結果、修正案を賛成多数で、修正部分を除く原案を全員賛成で可決しました。

(修正内容は4頁)

最後に、各分科会委員長が議第57号を除く予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で承認及び可決しました。

7年度補正予算議案 1件を修正可決

最終日の27日、予算特別委員長が議第57号についての審査報告を行い、討論の後、表決の結果、修正案を賛成多数で、修正部分を除く原案を全員賛成で可決しました。

続いて、各常任委員長が条例及び事件議案について、予算特別委員長が議第57号を除く予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議第56号及び議第58号から議第76号までの20件は全員賛成で承認及び可決しました。

最後に、追加議案として、市当局が、議第78号及び議第79号を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

人事案件の結果

教育委員会委員

佐藤 涼子氏(大山二丁目)

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会による
永年在職議員の表彰状の贈呈があり、議場において伝達を行いました。

在職20年以上

加藤 鏞一 議員

在職15年以上

田中 宏 議員



▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
報第1号	令和6年度鶴岡市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—
報第2号	令和6年度鶴岡市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—
報第3号	令和6年度鶴岡市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—
報第4号	令和6年度鶴岡市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—
議第56号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第4号）の専決処分の承認について	予算特別	承認 (全員賛成)
議第57号	令和7年度鶴岡市一般会計補正予算（第1号）	予算特別	修正可決 (賛成多数)
議第58号	令和7年度鶴岡市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第59号	令和7年度鶴岡市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第60号	鶴岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総務	
議第61号	鶴岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務	
議第62号	鶴岡市旧朝日庁舎解体工事請負契約の締結について	総務	
議第63号	鶴岡市立朝陽第五小学校改築グラウンド整備工事請負契約の締結について	総務	
議第64号	鶴岡市立朝陽第五小学校改築プール整備工事請負契約の締結について	総務	
議第65号	財産の取得について（スクールバス）	総務	
議第66号	財産の取得について（タブレット型パソコン）	市民文教	
議第67号	鶴岡市高機能消防指令センター整備業務に関する委託契約の締結について	市民文教	可決 (全員賛成)
議第68号	財産の取得について（高規格救急自動車）	市民文教	
議第69号	財産の取得について（高規格救急自動車）	市民文教	
議第70号	財産の取得について（特殊はしご付消防自動車）	市民文教	
議第71号	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	市民文教	
議第72号	財産の取得について（消防軽積載車）	市民文教	
議第73号	財産の取得について（消防小型動力ポンプ）	市民文教	
議第74号	土地の取得について 道の駅あつみの移転整備に係る事業用地を取得するもの	産業建設	
議第75号	庄内広域水道企業団の設立について	産業建設	
議第76号	市道路線の認定及び廃止について	産業建設	
議第77号	鶴岡市教育委員会委員の任命について	省略	同意 (全員賛成)
議第78号	鶴岡市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	省略	可決 (全員賛成)
議第79号	鶴岡市議会議員及び鶴岡市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について	省略	

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第5号	辺野古新基地建設を直ちに止め、普天間基地の危険除去を早急に実現することを求める意見書の提出に関する請願	総務	不採択 (賛成少数)
請願第6号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出に関する請願	市民文教	

4月臨時会の概要

4月30日に4月臨時会を開催し、条例議案3件の審議を行いました。
提案説明の後、質疑、討論を行い、表決の結果、承認及び可決しました。

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第53号	鶴岡市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	省略	承認 (全員賛成)
議第54号	鶴岡市地域経済牽引事業促進のための固定資産税課税免除条例の一部改正について	省略	可決 (全員賛成)
議第55号	鶴岡市国民健康保険税条例の一部改正について	省略	可決 (賛成多数)

6月定例会のポイント

一般会計補正予算案を修正可決

こどもの遊び場利用料軽減実証事業費を削除

6月定例会に提出された補正予算案には、こどもの遊び場利用料軽減実証事業に係る補助金等が計上されました。

同実証事業費は、3月定例会で当初予算案から削除し、予備費に組み替えたキッズドームソライ利用料軽減事業補助金について、議会の議論等を踏まえて再提出されたものです。

審査を所管する予算特別委員会厚生分科会では、

対象施設や実施方法等について多くの質疑があり（内容は5頁）、6月26日の予算特別委員会では、委員が同実証事業費を削除する修正案を提出しました。修正案に対する質疑・討論の後、表決の結果、賛成多数で修正案を可決しました。

27日の本会議では、この予算特別委員会で可決した修正案について、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。

削除した事業の概要 【補正予算額 3,585万円】

こどもの遊び場の利用料軽減に向けて、対象となる施設を公募・選定する仕組みを構築するための実証事業として、次の施設の利用料を軽減するとともに、遊び場についてのアンケート・ヒアリング等の調査を行うもの

●対象施設

- キッズドームソライ（北京田）
- 小堅ランド（堅苔沢（旧小堅小））
- 県民の海・プール スパール（下川）

以下の①～④の観点を満たす、タイプの異なる3施設を選定。

- ①屋内であること。
- ②子どもの個々の興味によって多種多様な遊びができること。
- ③親子の遊びや子どもの見守りができること。
- ④インクルーシブ*な環境を整えることができること。

●軽減内容

左記の対象施設で、市内在住の0歳児から小学生まで、及び付添いの保護者1人の利用料を無料とする。

●実施期間

令和7年8月1日から令和8年3月31日まで（8か月間）

●実施方法

対象施設を無料で利用できる共通パスポートを配付する。



討論

表決の前に、自身の意見を表明し、他の議員に賛同を求めます。以下に、討論の要旨を掲載します。



原案に賛成（修正案に反対）

- ・行政サービスにおける受益者負担は、財政の公平性を保つ上で重要な考え方であるが、子どもの成長に関わることは、次元の異なる議論が必要である。この事業は、あくまで実証実験であり、タイプの異なる3施設で実証実験を行うことで、どのような効果や課題があるのか、具体的なデータを収集でき、将来の本格的な遊び場整備構想へと生かしていくことができる。
- ・郊外地の遊び場整備に利用できる施設は限られており、インクルーシブな対応や財源確保等を考えても、整備には数年を要する。この実証事業で市民の様々な意見を聴き、8年度以降の取組につなげていく必要がある。

修正案に賛成

- ・一民間事業者への補助金が議論になっていることを考慮すれば、ソライのほかにも民間施設を対象に入れることが考えられたのではないかな。また、実施期間が冬季にわたっているため、スキー場やスケート場も検討できたのではないかな。屋内に限定する必要があるのかな。
- ・スパールの流水プールや幼児用プール等の一部設備は、冬期間の利用ができない。実証事業として行うのであれば、期間中、偏りなく統計がとれる施設を選定することが適当ではないかな。
- ・パスポートは、何回も利用できる子どもがいる一方、地理的又は家庭的な理由から、取り残される子どもが出てくるのではないかな。

*インクルーシブ…「包括的な」「全てを包み込む」を意味する。
多様な人々を排除せず、受け入れられる状態。

委員会審査

提出された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。
審査の主なものを掲載します。

厚生

こどもの遊び場利用料軽減 実証事業の妥当性は

委員 対象施設を利用する際に提示するパスポートは、利用回数に制限があるのか。また、予算規模や労力を考慮し、クーポン方式にしないとのことだが、方式ごとに経費等を積算して比較したのか。

子育て推進課長 パスポートには利用回数の制限を設けない予定である。また、方式ごとに人件費や事務費を積算していないが、パスポートは1枚の発行で済むのに対し、クーポンは対象施設分、何枚も必要になることを考慮して、労力がかかると判断した。

委員 利用制限がないとすれば、特定の子どもが何度も利用するといった不公平は考えられないか。

子育て推進課長 実証事業で利用者のリピート率を検証し、利用動向も見極めて、今後の本格導入の内容を精査していきたい。

委員 クーポン方式は、予算上限が設定できるメリットがある。比較的安価に導入できるデジタルクーポンは検討したのか。

子育て推進課長 検討はしたが、システム開発に時間を要すること

や、一定程度の経費が発生すること、実証事業であることなどを考慮し、今回は紙のパスポートで計画した。



キッズドームソライのアソビバ

委員 令和6年度にソライを無料体験する親子モニター事業を実施しており、適正と思うソライの利用料金を聞いている。3歳以上の子どもの場合、500円が約41%と最も多く、次いで無料が約22%であった。この結果によれば、利用者負担額を500円としてもよいのではないか。

子育て推進課長 当初、小学生以上は500円という検討をしたが、こどもの遊び場に関する協議会において、「小学生が小遣いで行ける金額にできないか」「せめて小学生までは無料に」等の意見があった。そうした意見を踏まえ、庁内で検討を重ねて無料と設定した。

委員 3施設とも小学生まで無料

にするということは、子育て関連施策には※受益者負担の原則を適用しなくてもよいとの考えか。また、対象施設までの距離といった地理的条件や送迎等の家庭環境による利用の公平性をどう考えているか。

子育て推進課長 子育て関連施策を受益者負担の原則から除外して考えてはいないが、無料で遊べる屋内の遊び場が欲しいという子育て世代のニーズに応え、総合計画を推進するための施策として予算を計上するものである。また、この実証事業で居住地別の利用状況等を検証したいと考えているほか、本市の遊び場整備方針において、郊外地や旧町村地域などにも身近に遊びに行ける施設を整備することとしている。利用の公平性等については、実証事業の結果や同方針を踏まえ、担保できるよう検討していきたい。

委員 利用料軽減対象の3施設は公募による決定ではない。特定の民間施設への補助金交付は、訴訟に至ったケースもあるようだが、見解は。

子育て推進課長 今回は実証事業であり公募はしていないが、子どもの遊びに必要な点を考慮し、規模やタイプの異なる3施設を選定した。こどもの遊び場に関する協

議会でも、透明性の観点から公募が必要という意見もあったことから、今後、公募の仕組みづくりを検討していきたい。また、この補助金は、本来は利用した子ども等に補助するべきものを、事務の煩雑さを避けるため、施設側に利用料相当分を補助するものであり、民間施設の運営に対する補助ではない。訴訟のリスクは判断しかねる。

総務

市職員の部分休業制度の拡充とは

委員 育児のための部分休業制度を拡充することだが、例えば勤務時間中、子どもの体調不良等で通園している保育園から緊急連絡があった場合などでも、取得することが可能になるのか。

職員課長 現行の制度では、例えば1時間遅く出勤する、1時間早く退勤するなど、勤務時間の始め、又は終わりの時間に限り、取得可能であったが、改正によって、1日単位でも、勤務時間の途中でも取得可能となる。



市民文教

避難所に配備する

防災資機材の状況は

委員 二次避難所等に防災資機材としてカセットボンベ3、456本を配備することだが、用途や配備先、今後の更新計画は。

防災安全課長 今回は、可搬式発電機の配備を計画しており、カセットボンベは、その燃料として発電機の配備先に備え置くものである。また、更新は7年後を想定している。



避難所運営は日頃の備えと訓練が重要

委員 可搬式発電機を燃料のカセットボンベと併せて配備予定とのことだが、市がこれまで整備してきた資機材の燃料配備は。

防災安全課長 今回の可搬式発電

機の配備は、国の交付金を活用する。燃料等の消耗品は、この交付金の補助対象外だが、配備する発電機はカセットボンベ式で統一し、燃料も一体で配備するため、一般財源で予算計上した。既存資機材の燃料配備は、今回は検討していないが、市と燃料供給業者は災害応援協定を締結しており、有事の際は優先して避難所に燃料が配送される。

産業建設

水道事業経営統合後の

水道料金の審議は

委員 本市・酒田市・庄内町の水道事業の事務を共同処理する庄内広域水道企業団の規約を制定し、その中で企業団議会が設置されるが、水道料金の平準化に向けた審議は企業団議会で審議するのか。

上下水道部総務課長 この企業団は独立した自治体組織であり、水道料金など企業団の条例で規定される事項については、企業団議会で審議し、決定することになる。



常任委員会視察報告

先進的な施策を実施する自治体を訪問し、視察を行いました。

市民文教常任委員会

視察日 5月19日～5月21日

災害に備える 地域づくりの推進を

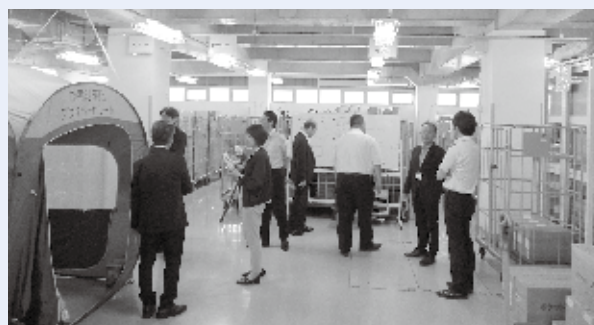
三重県伊勢市では、南海トラフ地震が発生した場合、甚大な被害が想定されることから、市民の防災力の向上に多角的に取り組んでいる。

例えば、親子防災デイキャンプや外国人向けの防災研修など、誰もが参加しやすい多様な機会を設けているほか、災害時のペット対策マニュアルの作成や、災害用マンホールトイレの使用手順をYouTubeで公開するなど、有事を想定してきめ細やかな事前の備えが進められている。

さらに、消防本部に併設された防災センターでは、1階に防災倉庫を設置し、市としての災害用物資を備蓄しているほか、3階の

防災体験学習室では、防災に関する知識と技術を習得できる機会を提供している。

自助・共助・公助の連携強化を多角的に推進している取組を学べ、大変参考となる視察であった。



防災センター1階の防災倉庫を視察

ほかの視察先と視察項目

三重県津市…子ども教育センターの取組
京都府京都市…空き地等の活用等

総務常任委員会

視察日 5月21日～5月23日

DX推進による業務改善と 市民サービスの向上

徳島県小松島市では、デジタルの力を活用し、質の高い市民サービスの提供を目指す「DX推進計画」の推進に向けて、様々な取組を実施している。

1つは、全国の自治体の業務手順と所要時間を可視化・共有できるツールの導入により、他市の効率の良い業務手順に倣うことで、「手軽」に業務改善を実現していた。ツールの導入により、「みんな」で業務改善へ取り組むことで、対話が増え、風通しの良い職場づくりにつなげていた。また、ビジネスチャットツールが導入によって、職員間のコミュニケーションが活性化・迅速化し、かつ、1人当たり年間で平均98時間の業務削減効果も期待できるとのことであった。

こうしたDX推進により、職員の余力も創出することができ、それによって市民サービスの向上にもつながるなど、大変参考となる取組であった。



DX推進課と人事課から取組事例を学ぶ

ほかの視察先と視察項目

徳島県徳島市…徳島市まちづくり協働プラザの取組
徳島県神山町…創造的過疎・神山のまちづくり

産業建設常任委員会

視察日 5月26日～5月28日

複合施設の整備で まちなかのにぎわい創出

宮崎県都城市では、中心市街地に複合施設「まるまるMallmall」を整備し、まちなかのにぎわい再生事業に取り組んでいる。同市では、郊外型大型店の出店が進む一方で、中心市街地にあった百貨店などの中核店舗が閉店し、跡地の再生を含めたにぎわい創出が課題となっていたことから、既存建物の活用と官民連携の事業展開により、コストを削減しながら都市機能を集約した施設整備を図っていた。

同施設には、市民ニーズに応える形で、図書館を移転整備したほか、子育て世代が交流できる屋内外の遊び場や保健センター、まちなかに日常的なにぎわいを創出する多目的広場等を整備している。施設の整備によって、

中心市街地ににぎわいが感じられるようになり、空き店舗も減少してきている。

本市の中心市街地のにぎわい創出に取り組むに当たり、大変参考になった。



Mallmall内を視察

ほかの視察先と視察項目

鹿児島県霧島市…リノベーションのまちづくり
宮崎県西都市…東米良地区 農村RMO事業の取組

総括質問

市長提出議案に対して、会派を代表して7人の議員が質問しました。
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube

「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。

YouTube 鶴岡市議会



質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。
なお、本原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

新学校給食センター整備 市長の職務権限は

創政クラブ 本間 正芳 議員



議員 令和7年3月定例会で、新学校給食センターの整備基本計画案で示した調理業務の民間委託の方針を撤回し、6年度内の計画策定を見送った理由は、

市長 調理業務の在り方等について更に検討が必要であり、計画をまとめるための検討時間が足りなかったことや、いわゆる2時間喫食の課題についての指摘なども踏まえ、調理・栄養・食材等の専門的な知見も入れた更なる検討が必要と考え、6年度内の計画取りまとめを見送ったものである。

議員 学校給食に関することは、市長部局から独立した教育委員会の所管であるが、役割分担は、

市長 学校給食に関することは、教育委員会の職務権限の下で事務を管理し、執行するものと承知している。一方で、市長部局と教育委員会は、相互の役割分担に責任を持ちながら、緊密に連携することが重要と考える。

ほかの質問

こどもの遊び場利用料
軽減実証事業、朝陽五
小のプール整備 など

米価高騰の要因を踏まえ所得補償の復活を

日本共産党鶴岡市議団 坂本 昌栄 議員



議員 米価高騰の要因をどのように捉えているか。

市長 猛暑の影響による5年産米の供給減少やインバウンド向けの業務需要、災害備蓄としての家庭需要の増加が主な要因として挙げられている。また、集荷競争の激化に伴って、大手の集荷事業者の集荷量が減少し流通市場が混乱したこと、6年産米への切替えが前倒しになり品薄感が助長されたとの見方もある。これら需給の逼迫に加えて、国の作況分析と生産実態との乖離や、複数の中間卸売業者が関わる流通システムなどの要因が絡み合った結果であると捉えている。

議員 米農家への所得補償を復活させる必要があるが、見解は。

市長 国は、9年度に水田政策の抜本的な見直しを行う。農業の多面的機能の発揮、食料供給力の確保の観点から、的確な所得政策の確立が期待される。

ほかの質問

こどもの遊び場利用料
軽減実証事業、
鳥獣対策 など

トランプ関税が中小企業に与える影響は

鶴岡市議会公明党

あきば ゆう 秋葉 雄 議員



議員

トランプ関税は、第一次トランプ政権の経験の上に4年間の準備期間をプラスした強固な政策だとする指摘もあり、地方の中小企業に大きな影響が出るのではないかと心配されている。中小事業者の経営にどのような影響が及ぶと考えるか。また、今後トランプ関税の影響が拡大してきた場合の本市としての支援策の見通しは。

市長 代表的な日本企業においても7年度の決算見通しで減益を見込む企業が出てくるなど、関税措置の影響が顕在化しつつある。一方で、関税措置の影響を短期的にしか見込んでいない企業や非開示の企業も多く存在しており、不透明感や不確実性も高まっている。市としては、現在も政府間の交渉が続いていることから、状況を注視していくとともに、外的リスクに左右されにくい経営体質づくりに向けた各種の支援策を講じていく。

ほかの質問

こどもの遊び場利用料
軽減実証事業

再生産できる適正な米価の見解は

ほんま しんいち リベラル 本間 信一 議員



議員

「令和の米騒動」で、国は備蓄米を放出し、米価高騰を抑える政策を次々と打ち出したが、7

年産米は供給不足から一転し、供給過剰で米価の急落が危惧される。消費者と生産者の双方にとって、持続可能で適正な水準の生産者価格が求められるが、見解は。

市長 農業経営の安定に向けて、生産コストを考慮した再生産可能な米価の維持が求められている。本市における平均的な規模の担い手では、5年産米で60kg当たり約1万3,000円が損益分岐点になる。経営規模の拡大や農業機械の導入・更新コストを考慮すると、当然ながら生産コストを上回る生産者の手取りを実現する必要がある。これを価格で実現するのか、所得政策で実現するのかという課題があるが、私は、的確な所得政策が必要であると考えている。

ほかの質問

こどもの遊び場利用料
軽減実証事業

新学校給食センター整備 現場の意見は

くどう ひろし 市民フォーラム 工藤 博 議員



議員

市職員は、学校給食発祥の地として、「子どもたちに喜ばれる学校給食づくり」にまい進してきた。新学校給食センター整備基本計画策定に当たり、専門家である栄養士・調理員など、職員の意見をどのように反映させていくのか。

市長 現センターを整備した際は、当時の調理員の方々はじめ、職員の意見やアイデアを参考にしたと聞いている。今後、新センターの詳細な議論を進めていくが、勤務する職員にとって働きやすい環境を整えることも検討課題の一つであり、知見のある現場の職員の意見を施設整備に反映していくことも必要であると考えている。これまで、現センターに勤務する調理員や栄養士との意見交換の場を設けているが、今後も継続的に意見交換を行い、整備基本計画に反映していく。

ほかの質問

なし

対話と協働で、創造と伝統のまちづくりを！

SDGs 鶴ヶ岡 **田中 宏** 議員



議員 市長の2期8年の総括は。

市長 対話重視・市民目線・多様な主体との協働は、市政を貫くものとして粘り強く取り組んできた。具体例として、まちキネの再生では、映画機能付き交流スペースとしての改修を支援したほか、市内循環バスの再編では、多様な主体が地域公共交通の取組に参画したとして、国土交通大臣表彰を受賞した。本市の持続的発展の鍵は、住民主体のまちづくりの推進である。

議員 直面する課題への対応は。

市長 新学校給食センターや新図書館の整備は、まちづくり全体に影響するため、市民参画による検討を継続し、任期中に前進を図ることに全力で取り組む。

議員 次期市長選挙への対応は。

市長 創造と伝統のまちづくりには多様な主体との対話の市政が不可欠である。重要政策を継続、推進するために、次期市長選挙への出馬を正式に表明する。

ほかの質問

なし

日本一の給食と希望が持てる農政モデルを

市民の声・鶴ヶ岡 **草島 進一** 議員



議員 視察した武蔵野市給食・食育振興財団では、米は有機米、また、野菜・果物は市内産を優先する

といった指針を定めており、給食の質の高さを感じた。学校給食発祥の地、ユネスコ食文化創造都市として、持続可能な農業政策と給食政策のモデルを築き、日本一の給食を目指してほしいが、見解は。

市長 農業については、小規模な経営を含む多様な営農実態を踏まえつつ、生産基盤の整備やスマート農業の導入、担い手の育成など各種施策に取り組む。また、新学校給食センターの整備に合わせた有機農産物を含む更なる地産地消の推進が必要と考える。武蔵野市など他団体の先進事例も参考に、同センターの整備の議論を進めていくが、農業生産現場と学校給食との結び付きを強化するチャンスだと捉え、日本一の学校給食を目指し、積極的に取り組んでいく。

ほかの質問

こどもの遊び場利用料
軽減実証事業、
今後の市政方針

— 市議会要望活動 — 市民生活に大きく関わることを国に要望してきました。

議長、副議長、総務常任委員長、産業建設常任委員長及び高速交通等対策特別委員長は、5月15日に酒田河川国道事務所、東北地方整備局及び農政局に、29日には市長とともに財務省、国土交通省及び衆・参議員会館を訪問し、日沿道の日も早い全線開通や農業人材の育成・確保などについて、現状を説明し、本市の振興・発展には早期の要望事項の実現が不可欠であることを強く伝えました。

要望事項の実現に向け、市議会では、今後も関係省庁等に対し働き掛けを行っていきます。



国定勇人国土交通大臣政務官に要望書を手交

要望書は市議会ホームページに掲載しています。



教員の欠員、産休等の 代替者の配置状況は

なん ば じゅん
南 波 純 議員



議員 全国的に教員の欠員、なり手不足が深刻な状況にある。特に最近では新年度当初から欠員が発生している状況だが、6月1日現在で教員の欠員が生じている学校は何校で何人か。また、産休、育休、病休等の代替者の配置が決まっている学校は何校あるのか。

教育長 4校で5人の欠員が生じている。また、産休、育休、病休の代替者が配置できていない学校が2校で2人である。なお、現段階で産休に入る予定が分かっているのは7校で9人であるが、うち代替者が確定していないのは3校となっている。

ほかの質問

教職員の勤務時間の現状及び把握、改正給特法の附則7項目、働き方改革のための業務の削減

一般質問

市政全般について考え方や方針などを23人の議員が市当局に質問しました。総括質問を行った議員を除く18人の質問を掲載します。各議員1項目について概要をお知らせします。

質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。なお、本原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。

YouTube 鶴岡市議会



スマホ育児 それって大丈夫なの？

と がし まさ き
富 樫 正 毅 議員



議員 長時間のスマホの使用は心身に悪影響を及ぼす。育児にも、スマホなど各種ICT^{*1}を活用する機会が増えているが、育児ストレスによって親のスマホ使用頻度が増え、親子共々スマホに依存する傾向が見られる。いわゆるスマホ育児に対して注意喚起が必要と思うが見解は。

健康福祉部長 スマホ育児には、メリットもデメリットもあるが、スマホへの過度な依存は望ましくないと考える。スマホに頼りすぎない育児を推進するため、保護者等を対象にした健康教育等を通して、親子の触れ合いや愛着形成の大切さの普及啓発に取り組んでいく。

ほかの質問

SNS関連事故・事件

デジタルの活用で割引 クーポンの発行を

くろ い ひろ ゆき
黒 井 浩 之 議員



議員 消費喚起クーポン事業において、公式LINEを活用すると、登録者は誰でも割引クーポンが取得できるため、市外からの誘客促進が期待でき、紙クーポンの保管や換金にかかる事業者の手間がない。本市でも活用を検討しては。

商工観光部長 公式LINEの機能拡張の可否や追加費用の有無なども含めて、他市町村の事例や手法を調査し、検討していく。

議員 活性化策として飲食店等と連携し、公式LINEを活用した割引サービスを検討しては。

商工観光部長 その他の手法も含め、費用を抑えて飲食店等をPRできる取組を検討していく。

ほかの質問

かたくり温泉ぼんぼの営業再開、
防災対策の強化

インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー
※1 ICT…Information and Communication Technology
スマホやタブレット等、様々な形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称。

なか ざわ み ゆき
中 沢 深 雪 議員



市民部長 現在、市公式LINEとマイナンバーを活用した避難所情報システムの構築を進めている。市民が事前にスマホへ情報を登録しておくと、避難所の受付ではスマホをかざすだけで済むので、スムーズな避難者の受入れと各避難所の正確な情報把握が可能となり、避難者への的確な支援につながると考える。

ほかの質問

若者・女性にも選ばれる地方

さとう まり
佐藤 麻里 議員



危機管理監 廃棄を極力避けるために、液体ミルクは乳幼児健診時に配布、生理用品は小・中学校に配置換えをするとともに、防災備蓄品であったことを紹介し、防災意識を醸成している。

ほかの質問

地域住民による生活支援活動

かとうこういち
加藤 鏞 一議員



教育長 この目標は、藤島地域の小・中学校の教職員が、目の前にいる子どもの姿を基に、話し合いを重ねて設定した。目標の実現には、楽しいと感じられる学校生活が土台となり、子どもたちの主体性が発揮されることが大切である。

ほかの質問

藤島川と京田川の流下能力向上対策

あ べ ひろし
阿 部 寛 議員



総務部長 箕面市では、同僚や部下、連携して仕事をしている他課の職員等が様々な角度から多面評価を行う人事評価制度の導入と併せ、年功序列型の給料体系によらない、責任に応じた処遇が得られる給与構造改革を実践していると伺った。先進自治体の事例等を収集しながら、本市の人事評価制度の改善を図っていきたい。

ほかの質問

消防職員に対する時間外勤務手当の支給

町内会の負担軽減は

は せ が わ
長 谷 川

つよし
剛 議員



議員 現役世代の共働き世帯の増加や定年延長などの理由から、会長を選出できない町内会があると聞くが実態は。また、市からの様々な依頼業務を見直し、負担を軽減する検討は。

市民部長 会長が選出されていない町内会は、全463町内会のうち7町内会あり、全て鶴岡地域の市街地の町内会である。会長が不在の町内会は、近年増加傾向にあり、担い手不足が進んでいると捉えている。町内会の負担軽減については以前から要望があり、各種協議会等への委員選出や隣組回覧などの住民周知を見直し、負担軽減に努めている。

ほかの質問

不登校児童生徒への支援、
災害時の課題、市道街路樹

訪問介護事業の報酬引下げ 市独自の支援は

すが い
菅 井

いわお
巖 議員



議員 新潟県村上市を参考に、令和6年度に引き下げられた訪問介護基本報酬の引下げ前との差額支援に取り組むべきと考える。本市で同様の事業を行う場合の予算額は。また、村上市と同様に介護保険給付等準備基金を活用しては。

健康福祉部長 6年度実績を基に試算すると、年間約1,800万円と見込まれる。本市の介護保険給付等準備基金は、現在の第9期介護保険事業計画策定の際、有識者等による審議会に諮り、次期計画以降の介護ニーズの高まりによる第1号被保険者保険料の激変緩和と、国が行う臨時報酬改定等への備えに活用する方針としている。

ほかの質問

生活保護、高館山遊歩道の維持管理

市長100万円寄附不記載 問題の真実は

お の よし お
小 野 由 夫 議員



議員 市長は、平成29年に支援者から100万円を受け取ったが、選挙運動費用収支報告書に記載せず、3年間の時効が過ぎ、判明するまで4年近く不正を隠蔽した事実を認めるのか。

市長 収支報告書への不記載の件は、知識不足と忙しさの中で的確な処理を失念してしまったもので、指摘のような事実はない。

議員 公人として、不記載という不正の事実、その理由で済む問題ではないと思うが。

市長 私の法令の認識の甘さによるものである。

議員 精神的苦痛を与えた支援者等への謝罪は。

市長 信頼を損なったことをおわび申し上げる。

ほかの質問

選挙運動費用収支報告書修正記載、
市長の説明責任

クマの出没状況と イノシシの処理は

さ とう ひさ き
佐 藤 久 樹 議員



議員 クマの出没件数と近年の被害状況は。

農林水産部長 4月・5月の出没件数は50件であり、5年度同時期の26件、6年度同時期の6件に比べて非常に多い。また、農作物被害額は5年度が442万円、6年度が115万円である。

議員 イノシシの捕獲頭数が増えており、捕獲従事者は処理に苦慮しているが、市の取組は。

農林水産部長 イノシシによる被害は近年拡大しており、6年度の捕獲頭数は201頭である。7年度、新たに簡易減容化※2施設2か所の設置を計画しており、捕獲従事者の処理に係る負担が少なくなると考えている。

ほかの質問

災害時に使用する資機材の扱い、
「鶴岡」ナンバーの創設

※2 減容化…廃棄物などの体積を縮小させること。

水産業者の厳しい経営状況を把握しているか

いからし かず ひこ
五十嵐 一 彦 議員



議員 水産業者の経営状況を市ではどのように把握しているのか。

農林水産部長 漁獲高が増えない中で、燃料、水、魚箱等の資材価格や電気料金の高騰によって経営コストが増加し、漁業経営は厳しい状況であると認識している。市では、県の漁礁※3設置に対する協力や、効率的な操業を実現する自動航行システムなどの新技術を導入した漁業者への補助など、資源量の回復と漁獲額の増加を後押しする事業を実施しており、今後も引き続き水産事業者の経営安定化に向けて支援をしていく。

ほかの質問
新学校給食センター整備、中期財政見通し

※3 漁礁…魚類を集めたり増やしたりするために海中に設置する構造物。

皆川市政を振り返り見て

しぶ や こう いち
渋谷 耕 一 議員



議員 本市職員に中途退職者が多い実態と職場環境について、市長の見解は。

市長 6年度の退職者は104人で、採用者は125人である。定年以外の退職理由は、転職や病気等で、職場環境を理由とした退職者はいないが、ハラスメントのない環境づくりに取り組む。

議員 旧鶴岡病院解体跡地の人工芝グラウンド整備事業について、費用対効果は。

教育部長 整備費は約11.3億円を予定しており、サッカーに限らず多目的な利用を可能として、年間4万人程度の利用を見込んでいる。今後も当初の予定どおり整備を進めていく。

ほかの質問
なし

放置された危険な空き家の対策強化を

ほん ま しん べ え
本 間 新兵衛 議員



議員 令和5年に空家等対策特別措置法が改正されたが、本市の対応状況は。

建設部長 法改正で空き家所有者の責務が強化された。また、放置すれば倒壊等の危険がある特定空家となるおそれがある空き家を、管理不全空家として、所有者等に指導・勧告を行う制度が新設された。本市では7年度から対応しており、危険な空き家184棟のうち、より危険な19棟を調査し、10棟を管理不全空家に認定、指導している。認定基準は国のガイドライン等に基づき作成しており、今後、全市的に管理不全空家の調査を行い、所有者等へ改善を促す。

ほかの質問
なし

ソライへの利用料軽減実証事業補助金は

さ とう まさ や
佐 藤 昌 哉 議員



議員 民間企業であるソライへの利用料軽減実証事業補助金については、補助金が運営経費を超えた額になれば、利益供与となり、不適切な支出になるのでは。説明責任を果たすためにも、補助金の算定根拠やソライの運営状況を示すべきではないか。

市長 費用を超える部分は支出できないという話だが、子どもに対する良質なサービスを提供するために必要な予算の支出は、一定程度認められるべきである。事務的に色々な根拠を出すべきと論点を明確にいただいたので、必要な資料を出させていただく。

ほかの質問
農業振興

病児保育の現状と課題、今後の取組は

えん どう はつ こ
遠 藤 初 子 議員



議員 病児保育の利用状況とキャンセル待ち、利用不可となった理由と課題、今後の取組は。

健康福祉部長 6年度は延べ386人が病児保育を利用した。一方で、キャンセル待ちを含め、延べ49人が利用できなかった。その理由として、定員を超える申込みがあったことや、感染拡大防止の観点から、異なる病状の子どもを同時に受入れしないことなどが挙げられる。今後、受入れ人数の拡大や新規設置を検討する必要があると考えているが、人材確保や設備投資の点で課題があると認識しており、受皿確保の方策について、引き続き検討していきたい。

ほかの質問
パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度

「特別支援教育推進計画」を策定する考えは

さ と う ひろ ゆき
佐 藤 博 幸 議員



議員 5年7月、文科省はインクルーシブ教育システムの構築に関わる内容を示しており、地方教育行政に反映する動向がより現実的になったと期待している。児童・生徒や保護者のニーズ等を踏まえた「特別支援教育推進計画※4」を策定し、推進していく考えはあるか。

教育長 特別支援教育充実事業として、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援と組織体制の充実に向けた取組を行っている。この取組では、PDCAサイクルを毎年機能させ、医療や福祉等の関係機関と連携しながら充実を図っていることから、年次的な計画の策定は考えていない。

ほかの質問
なし

※4 特別支援教育推進計画…障害のある児童・生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた適切な指導や支援を行うための計画。

議会ではどんな議論がされているの？ ～会議録検索システムで検索～

市議会ホームページからアクセスできる会議録検索システムでは、キーワードや発言者などを指定して、本会議と予算・決算特別委員会の会議録を検索することができます。これまでの議会でのどのような議論がされてきたのかなどの検索に、是非ご活用ください。

活用例…キーワードに「子育て支援」を入力して検索

鶴岡市議会ホームページをチェック！

鶴岡市議会



<https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/gikai/>

対応が遅い、学童修繕 危険箇所や雨漏り複数

いし い きよ のり
石 井 清 則 議員



議員 老朽化により雨漏り等が発生している学童保育所が2施設あるが、修繕予算の状況は。

健康福祉部長 藤島児童クラブは、今年度当初予算で屋根のふき替えを行う予定だが、泉学童保育所は、今年度予算への計上を見送っている。

議員 泉学童保育所では、屋根材の鉄板が落下し、玄関ポーチが封鎖されている。また、複数箇所雨漏りがあり、雨の日は廊下にバケツ等が並び、カビも発生している。修繕の考えは。

健康福祉部長 玄関ポーチ屋根は、夏休み前までに撤去工事を行う。雨漏りは、今年度躯体調査を行い、その結果を踏まえ対応を検討したい。

ほかの質問
受益者負担、キッズドームソライ

9月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/24	25	26	27 本会議 (開会・総括質問)	28	29 本会議 (一般質問)	30
31	9/1 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	2 本会議 (一般質問)	3 決算特別委員会 予算特別委員会	4 総務 常任委員会	5 市民文教 常任委員会	6
7	8 厚生 常任委員会	9 産業建設 常任委員会	10 常任委員会 予備日	11 常任委員会 予備日	12	13
14	15 (敬老の日)	16	17 議会運営委員会	18 決算特別委員会 予算特別委員会	19 本会議 (表決・閉会)	20
21	22	23 (秋分の日)	24	請願・陳情 提出期限 8月20日(水)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。
午後にはわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

議会を傍聴してみませんか

- ◆「本会議」は議場の傍聴席で傍聴できます。
本所4階ロビーで傍聴の受付を行っています。
傍聴の定員は64人です。
- ◆「委員会」は各会議室で傍聴できます。
本所2階の議会事務局で傍聴の受付を行っています。
傍聴の定員は5人〜20人程度です。
※本会議又は委員会を団体で傍聴する場合は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。
- ◆「本会議」は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・YouTubeでは生中継及び録画配信を視聴できます。

どなたでも傍聴できます

議会の会議録を閲覧するには

- ◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録を閲覧できます。
- ◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。市議会ホームページをご覧ください。



6月定例会の傍聴の様子

議会傍聴アンケート

6月定例会を傍聴された方から寄せられたご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介します。

- 市民として興味・関心を持ち、傍聴することで関わろうとすることは大切だと改めて感じました。
- 本会議は討論や質問をする議員さんの声はよく聞こえましたが、委員会では、議員さんの声が小さく、傍聴席から聞こえませんでした。もっと大きな声でお願いします。

編集後記

今年、昭和100年、戦後80年、本市は市町村合併から20年と、多くの節目を迎える年でもあります。また、市長及び市議会議員ともにその信を問う選挙の年でもあります。
6月定例会に提出された一般会計補正予算では、こどもの遊び場利用料軽減実証事業費を削除する修正案が可決されました。3月定例会に引き続き、活発な議論を交わしながら慎重な審議を行いました。紙面にその一部を掲載していますので、是非ご覧ください。
昨夏は豪雨災害があり、本市も被害に見舞われました。今夏は平穏でありますよう祈念するとともに、今後も、議会だよりを通して議会の活動を伝えてまいります。

広報広聴委員会委員 小野 由夫



発行／鶴岡市議会 編集／広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25
電話 0235-35-1908 FAX 0235-25-2123
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp